

お 知 ら せ

17.7.4
環境政策課
(内線2350)

環境技術実証モデル事業「湖沼等水質浄化技術分野」 における実証対象技術の選定について

平成17年度環境技術実証モデル事業（湖沼等水質浄化技術分野）の実証機関である愛媛県では、実証試験を実施する実証対象技術を選定しましたので、次のとおりお知らせします。

1 経緯・背景

環境技術実証モデル事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証する事業をモデル的に実施することにより、環境技術実証の手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的とするものです。

愛媛県は、環境省から平成17年度の湖沼等水質浄化技術分野の実証機関として選定され、平成17年5月26日(木)から6月10日(金)まで実証対象技術の募集を行ったところ、5件の申請がありました。

2 実証対象技術の選定

技術実証委員会（会長：立川涼環境創造センター所長）で、技術の先進性や環境保全効果等を検討し、次の実証対象技術1件を選定し、6月30日環境省の承認を得ました。

技術・製品の名称：直接曝気方式 ジェット・ストリーマー
環境技術開発者：株式会社石井工作研究所（大分市）
（詳細は別紙のとおり）

3 今後の予定

今月中に実証対象技術の実証試験計画を策定し、鹿野川ダム湖で実証試験を実施後、来年2月には実証試験結果報告書を取りまとめ、環境省に報告後、来年3月以降に公表する予定です。

(参考)

募集対象技術

閉鎖性水域における汚濁物質（有機物、栄養塩類）の除去、透視度の向上、底泥からの溶出抑制等を達成する技術で、現場で直接適用可能なもののうち、特にダム湖等の大規模湖沼におけるアオコの増殖を効果的に抑制できる水質浄化技術